2016 年 3 月
株式会社コックス

お客さまのまごころをさくらに託し、被災地に寄贈

「第 2 回さくら並木プロジェクト植樹会 3.26 in 新地町大戸浜」参加レポート

今年も従業員が参加し、さくらの苗木を植えることができました

株式会社コックスは、東北復興支援活動のひとつとして昨年に引き続き、2016 年 3 月 26 日（土）に福島県相馬郡新地町大戸浜地区で開催された「第 2 回さくら並木プロジェクト×オーガビッツ植樹会」に参加しました。当日は東北でも春の訪れを感じる暖かい気候の中、活動に賛同するファッションブランドから約 50 名と、地元の方や県外からのボランティアなど約 30 名の方々が集まり、植え方を教わりながら植樹作業を行ないました。

新地町大戸浜地区とは

今回さくらを植樹した新地町（しんちまち）大戸浜（おおとはま）地区は、震災の津波により被災した住民の多くが移り住んだ“防災集団移転地”の高台の一角。「残った住民と移転を余儀なくされこの地に移り住んだ住民とをつなぐ絆となるように」との願いが込められ、植樹を記念して建てられた石碑には、地域のみなさんで考えた「大戸浜の絆深める復興ざくら」の文字が刻まれました。

大戸浜地区長の濱野さん

さくら並木プロジェクトとは

「さくら並木プロジェクト」は、東日本大震災時の津波被害の風化防止と、将来起こりうる津波発生時の避難目標とすべく、津波の到達した地にさくら並木を造成する、NPO 法人さくら並木ネットワークの活動です。当社はこの活動に賛同し、2014 年より参加しています。今回は、2015 年度に販売した支援商品の販売額の一部から 1 本の苗木を寄贈、植樹しました。このほか、2015 年度の寄付によりさらに 2 本の苗木を同プロジェクトへ順次寄贈する予定です。当社が植樹したさくらは累計 5 本となりました。

Photography | Takuma Itoi

子どもたちや地元の方々と餅つきで交流。心から歓迎してくださり、笑顔があふれるひととき。

震災当時多くの方が避難した荒浜小学校などを視察。今でも生々しい津波の跡や家屋の土台が広がる。

交流会～被災地視察

植樹後は、地元の方々との交流や、最初の寄贈で植えた苗木の育成状況の視察、津波被害が甚大だった仙台市若林区荒浜地区の現状を知るためのバスツアーも催行され、震災から 5 年の節目を迎えてもなお津波や震災の爪痕が多く残る、被災地の現状を目の当たりにしました。

実際に東北の地へ足を運び、さくらをきっかけとした地元の方との触れ合いの中で、参加者一人一人が改めて継続的な支援の大切さを実感した 1 日でした。

コックスはこれからも、一日も早い東北復興に向け、ファッションを通じた支援活動を継続して参ります。